

**講座
23**

モーツァルトとピアノ：独奏と室内楽と協奏曲

【定員】150名 【受講料】2年会11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『音楽・芸能』音楽Ⅱ 【時間】毎回 13時30分～15時00分 (計12回)

概要

鍵盤楽器（クラヴィア）の主役がチェンバロからフォルテピアノに入れ替わろうとする時代、楽器の改良発展に伴い音楽作品の表現様式や表現技法も変化し新たな音楽ジャンルを生み出すことにもなった。モーツァルトのピアノを用いた独奏およびアンサンブル作品の変遷を見てゆく。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(木)	新百合21 ビルB2 多目的 ホール	クラヴィア・ソナタ総論と最初の6曲（1775年）	元慶應義塾大学教授 音楽評論家 平野 昭
2	10/5(木)		マンハイムとパリのソナタ（1777年9月～78年夏）	
3	10/19(木)		クラヴィア協奏曲総論と2台、3台の協奏曲	
4	10/26(木)		ザルツブルク協奏曲3曲、《ジエナミ》他	
5	11/2(木)		1783年、ウィーンでのピアノ・ソナタ	
6	11/9(木)		クラヴィアのための変奏曲	
7	11/16(木)		2台のクラヴィアのための作品、ソナタ他	
8	11/30(木)		幻想曲と幻想曲付きソナタ	
9	12/7(木)		ピアノ三重奏曲と2つのピアノ四重奏曲	
10	12/14(木)		ピアノと木管楽器のための五重奏曲	
11	1/18(木)		短調によるピアノ協奏曲	
12	1/25(木)		最後のピアノ・ソナタとプロイセン王室	